

# 新入学児童生徒学用品費の入学前支給申請について

## 援助の内容(令和8年1月現在)

毎年、文部科学大臣が定める額を保護者へ援助しています。ただし、支給額に変更が生じる場合は、必要に応じて次年度に差額分を支給するなど対応をいたします。

費 目	支給限度額(年額)		備 考
	小学校	中学校	
学用品費	11,630 円	22,730 円	1期に全額支給
通学用品費(1学年を除く)	2,270 円	2,270 円	1期に全額支給
校外活動費(宿泊無し)	1,600 円	2,310 円	1期または2期に支給
校外活動費(宿泊有り)	3,690 円	6,210 円	1期または2期に支給
修学旅行費	修学旅行に要する経費として均一に負担する額。1期または2期に支給		
新入学児童生徒学用品費 (今回の支給対象費目)	57,060 円	63,000 円	前倒して支給を希望するか 次年度に支給を受けるかのどちらか
医療費	学校保健安全法施行令第8条で定める疾病の治療にかかる経費を直接町から受診医療機関へ振り込むものとする。		
学校給食費	児童生徒が年間支払う金額を援助。		

新入学児童生徒学用品費の入学前支給とは、入学に必要な学用品等(ランドセルや制服、体操着など)を購入するため、通常次年度に支給される金額を前倒して受給できる制度のことを指します。

**対象は、令和8年4月に町立小・中学校に入学される方のみ(所得要件有り)になります。町外に転出予定の方、山元町立小・中学校以外の学校へ通学される方、生活保護を受給されている方は受給できません。**

申請をされたからといって必ず認定されるものではありません。予め御了承ください。

今回、入学前支給を申請しなくても、次年度4月からの認定を受けた場合、新入学児童生徒学用品費は支給されます。

## 申請に必要なもの

- (1) 就学援助受給申請書(様式第1号)
- (2) 口座振込依頼書
- (3) 通帳の写し(保護者名義で振込先が分かるもの)
- (4) 援助を受けたい理由に該当する書類(申請書参照)
  - ア 個人の町民税の減免通知書の写し
  - イ 国民年金申請免除承認通知書の写し
  - ウ 国民健康保険の減免通知書の写し
  - エ 児童扶養手当証書の写し
  - オ 生活福祉資金の貸付決定通知書の写し
  - カ 罹災証明書の写し(東日本大震災のみ対象)
  - キ 非課税証明書
  - ク 令和7年度所得課税証明書(山元町役場 町民生活課または坂元支所にて取得可能)
  - ケ 令和6年源泉徴収票の写し(年末調整済のもの)
  - コ 令和6年所得税確定申告書の写し

(裏面につづく)

**※ク 令和7年度所得課税証明書は、就学援助の申請で使用する旨を窓口にて伝えると手数料が減免されます。※**

## その他

今回は、新入学児童生徒学用品費(入学前支給)のみの申請です。

通常の就学援助費を希望する場合は、**今回認定となった方でも、再度就学援助費受給申請書の提出が必要になります。**申請案内文書については、後日配布いたします。

なお、次年度通常の就学援助を受けるにあたって、年度途中からの援助申請を希望される方については、随時受け付けしておりますので、お気軽に御相談ください。ただし、申請月の翌月から月割支給となります。

問い合わせ・郵送先:山元町教育委員会 教育総務課 総務班

〒989-2292 山元町浅生原字作田山32番地

電話 0223-37-5115

## 就学援助受給申請書【新規・継続】

年 月 日

山元町教育委員会 殿

次の理由により就学援助の支給を受けたいので、必要に応じ私の世帯全員の住民基本台帳の情報、生活保護・児童扶養手当の受給状況及び町民税賦課状況を、教育委員会が照会することについて同意し、申請します。

なお、支給に当たっては、就学援助の対象となる学校納付金等に未納がある場合は、当該額を学校長が受領することに承諾します。

保護者 住所 山元町  
氏名  
電話 ( ) —

- 1 申請年度 (令和8年度修学分)

- ## 2 申請理由

援助を受けたい理由	下記 1 ～ 9 に該当する場合番号を○で囲み、証明書等又はその写しを添付してください。
	1 生活保護法に規定する要保護者 2 生活保護の停止又は廃止( 年 月 日) 3 町民税が非課税又は減免 (→減免通知書の写し、源泉徴収票) 4 国民年金保険料の免除又は納付猶予 (→免除通知書等の写し、源泉徴収票) 5 国民健康保険税の徴収の猶予又は減免 (→猶予通知書等の写し、源泉徴収票) 6 児童扶養手当の受給 (→児童扶養手当証書の写し、源泉徴収票) 7 生活安定資金の貸付 8 雇止め等、就労環境の変化により当年収入が著しく減少する見込み (→給与明細等収入が減少する見込みの確認できる書類の写し) 9 その他 (家庭状況の変化や罹災した等) (→罹災証明書等、源泉徴収票) (上記 9 を選択した場合は、下記に具体的な申請理由を記入してください。)

- 3 受給申請児童生徒名 (在籍 (就学予定) 学校名 山元町立 )

	児童生徒氏名	性別	学年		児童生徒氏名	性別	学年
1				3			
2				4			

※ 兄弟姉妹で異なる学校に在籍(就学)する場合はそれぞれに申請書を提出してください。

4 世帯の状況（3に記入した対象児童生徒以外の世帯全員を記入してください。）

氏名	続柄	性別	生年月日（年齢）	就労先 又は学校名
	世帯主		年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	
			年 月 日（ 歳）	

- (1) 収入（恩給・年金・失業保険その他公の給付も含まれます。）のある方については、  
**前年分の源泉徴収票等の写し、確定申告書の写し及び恩給等の支給が確認できるものの写し**を添付してください。
- (2) 申請日現在の状況を正確に記入してください。
- (3) 山元町児童生徒就学援助実施要綱第11条により、虚偽の申請等があった場合は支給した就学援助費を返還していただきます。

◆以下の欄については記入しないでください。

〔民生委員児童委員の所見〕

世帯についての状況を記入願います。

年 月 日

区 民生委員児童委員 氏名 印

電話（ — ）

〔学校長の意見〕

1 保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められる。

2 経済的な理由による欠席日数が多い。

3 学校納付金の納付状況が悪い。または、減免が行われている。

4 東日本大震災の影響により、生活が不安定である。

5 その他

( )

上記の者は就学援助を必要とする児童生徒として報告します。

年 月 日

山元町立 校長 印

〔教育長の認定〕

以上の理由により就学援助は（必要・不要）と判断する。

年 月 日

山元町教育委員会  
教育長 印

就学援助受給申請書【新規・継続】

昨年度まで受給していない場合「新規」に○を、受給していた場合「継続」に○

年 月 日

山元町教育委員会 殿

提出年月日を記入

次の理由により就学援助の支給を受けたいので、必要に応じ私の世帯全員の住民基本台帳の情報、生活保護・児童扶養手当の受給状況及び町民税賦課状況を、教育委員会が照会することについて同意し、申請します。

なお、支給に当たっては、就学援助の対象となる学校納付金等に未納がある場合は、当該額を学校長が受領することに承諾します。

保護者 住所 山元町 ○○字○○ △△番地△  
氏名 山元 太郎  
電話 ○○○-△△△△-□□□□

電話番号は平日の日中繋がる番号

1 申請年度（令和 8 年度修学分）

2 申請理由

1～9で該当する項目に○を付けてください。  
9 その他については、具体的な申請理由を記入願います。

援助を受けたい理由

下記 1 ～ 9 に該当する場合番号を○で囲み、証明書等又はその写しを添付してください。

- 1 生活保護法に規定する要保護者
- 2 生活保護の停止又は廃止（ 年 月 日）
- 3 町民税が非課税又は減免（→減免通知書の写し、源泉徴収票）
- 4 国民年金保険料の免除又は納付猶予（→免除通知書等の写し、源泉徴収票）
- 5 国民健康保険税の徴収の猶予又は減免（→猶予通知書等の写し、源泉徴収票）
- 6 児童扶養手当の受給（→児童扶養手当証書の写し、源泉徴収票）
- 7 生活安定資金の貸付
- 8 雇止め等、就労環境の変化により当年収入が著しく減少する見込み（→給与明細等収入が減少する見込みの確認できる書類の写し）
- 9 その他（家庭状況の変化や罹災した等）（→罹災証明書等、源泉徴収票）（上記 9 を選択した場合は、下記に具体的な申請理由を記入してください。）  
（例） 昨年より収入が減少し、家族人数も多く、経済的に大変であるため。

3 受給申請児童生徒名（在籍（就学予定）学校名 山元町立 ○○小学校 ）

	児童生徒氏名	性別	学年		児童生徒氏名	性別	学年
1	山元 元気	男	1年生	3			
2				4			

令和 8 年 4 月 1 日時点の学年と学校名を記入

※ 兄弟姉妹で異なる学校に在籍（就学）する場合はそれぞれに申請書を提出してください。

現在の世帯員全員の状況を記入

4 世帯の状況（3に記入した対象児童生徒以外の世帯全員を記入してください。）

氏名	続柄	性別	生年月日（年齢）	就労先 又は学校名
山元 太郎	世帯主	男	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	（有）〇〇
山元 光	妻	女	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	無職
山元 次郎	子	男	平成〇〇年〇月〇日（△△歳）	山元中学校
山元 力	父	男	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	無職・年金受給
山元 花	母	女	昭和〇〇年〇月〇日（△△歳）	無職・年金受給

- (1) 収入（恩給・年金・失業保険その他公の給付も含まれます。）のある方については、  
**前年分の源泉徴収票等の写し、確定申告書の写し及び恩給等の支給が確認できるものの写し**を添付してください。
- (2) 申請日現在の状況を正確に記入してください。
- (3) 山元町児童生徒就学援助実施要綱第11条により、虚偽の申請等があった場合は支給した就学援助費を返還していただきます。

◆以下の欄については記入しないでください。

〔民生委員児童委員の所見〕

世帯についての状況を記入願います。

年 月 日

区 民生委員児童委員 氏名 印 電話

( — )

〔学校長の意見〕

1 保護者の職業が不安定で生活状態が悪いと認められる。

2 経済的な理由による欠席日数が多い。

3 学校納付金の納付状況が悪い。または、減免が行われている。

4 東日本大震災の影響により、生活が不安定である。

5 その他

( )

上記の者は就学援助を必要とする児童生徒として報告します。

年 月 日

山元町立 校長 印

〔教育長の認定〕

以上の理由により就学援助は（必要・不要）と判断する。

年 月 日

山元町教育委員会 教育長 印

# 銀行等口座振込依頼書

## 兼学校長からの現金受領同意書・委任状

私が山元町から受領する就学援助費について、下記口座への振り込みを依頼します。  
ただし、私が納めるべき校納金等に未納があり学校長から現金支の申し出がある場合は、当該援助費を学校長の口座に振り込みいただき、学校長から現金で受領することに同意します。

なお、その際の山元町からの就学援助費の受領については、学校長に委任します。

山元町長 あて

学校長 あて

年 月 日

保護者 住 所 \_\_\_\_\_

(申請者)氏 名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

受給対象児童生徒

学 校 名	児童・生徒氏名	学 年

### 記

振込先金融機関	銀 行・農 協 信用金庫・信用組合												
本店・支店名	本 店 ・ [ ] 支 店												
口 座 番 号									預金種別	普通・当座 その他( )			
フリガナ													
(保護者名)口座名義													

※ 依頼書に「通帳のコピー」を添付願います。(通帳写し貼り付け台紙に貼ること。)

※ 振込先口座名義は、保護者名(申請者)と一致すること。

※ 間違いにより訂正する場合は、二重線を引き訂正印を押印ください。

# 通帳写し貼り付け台紙

枠内に通帳の写しをのりで貼り付けて提出してください。

## 貼り付け欄

### 必要な情報

- ・ 金融機関名
- ・ 支店名
- ・ 預金種類
- ・ 口座番号
- ・ 名義人（カナ）

通帳を開いた

1・2ページ目

総合口座			
おなまえ ヤマモト タロウ サマ		種 別：普通預金	
		口座番号：□□□□□□□□	
〇〇〇銀行 〇〇支店			
<div></div>			
----		----	
----		----	
----		----	
金融機関コード △△△△		支店名コード △△△	
口座名義（カナ） 山元 太郎（ヤマモト タロウ）			